

舞鶴高専技術通信

(2011秋号)

2011/11

舞鶴高専 地域共同テクノセンター

舞鶴高専の産官学連携について

舞鶴工業高等専門学校長 太田泰雄

京都は古くから工芸品製造の中心であり、特に工芸品・織物デザインに関しては、これまでの伝統技術が現在のものづくりに生きております。本校はこのような京都府に設置された国立高専として、京都府中丹広域振興局や(公財)京都産業21北部産業技術支援センターと連絡を取りながら産官学協同を進めてきました。特に、京都府北部は古くから丹後縮緬などの織物業が盛んであり、現在でも織物業はじめ様々な産業が栄えています。本校はこのような、ものづくり企業や人材育成機関、行政機関・各種団体と連携して、ものづくり産業を担う人材育成と共同研究を行っています。

また、京都では堀場製作所、オムロン、ロームなど多数の企業が創業し、今日、これらの企業が我が国の産業界を活性化させています。本校は創立以来、このような京都で創業した大企業にもたくさんの卒業生を送り、京都におけるものづくり人材育成機関の一端を担ってきました。

本校が社会に貢献する一番重要な使命は、本校の教育理念にもありますように「広く工学の基礎と教養を身につけ、問題発見、解決能力、創造力、国際感覚豊かな実践的技術者を育成する」ことですが、地元根付いた高専として、地域への高等教育機関としての貢献も重要です。

本校はこれまでに京都府北部の企業と連携して、(独)国立高専機構事業の企業技術者活用事業によって、本校学生が企業技術者と共に商品設計段階から参加してこれまでにない創意工夫がある試作品を進める共同研究を行ってきました。また、平成23年度は京都市の大手企業から企業技術者を招聘して学生と共に考えながら、技術を学ぶ事業を行っています。

平成24年8月20日に本校が世話校となり、京都で、「全国高専テクノフォーラム」が開催されます。この行事は(独)国立高専機構が主催し、高専と産官との連携をさらに進める全国的なイベントです。この行事によって、関西の地域におけるこれからの産官学のさらなる発展を考えると共に、この地域からの産官学の情報を発信したいと思っています。

最後に恐縮ですが、各位におかれましては今後とも本校にますますのご鞭撻を頂きますようお願い申し上げます。

産学連携、および研究技術の関連行事

1. 高専テクノフォーラム

第9回全国高専テクノフォーラムが平成23年8月4日(水)に東京の学術総合センターで開催されました。全国の高専から133件のポスター展示があり、研究成果が発表されました。全国の高専関係者と東京の企業関係者が多数参加し、熱心に意見交換が行われました。ポスター展示と同時に沢山の講演も行われ、興味深いお話を聞くことができました。舞鶴高専からは電子制御工学科の町田准教授の「高速完全追従を実現する速度制御装置の開発」がポスター展示されました。

来年の第10回全国高専テクノフォーラムは舞鶴高専が世話校となり、8月20日(月)に京都国際会館で開催されます。今年以上に有意義なフォーラムとなるよう努力したいと思っております。詳細内容が決まりましたら別途案内させていただきます。多数の企業関係者のご参加をお待ちしております。





来年の第10回全国高専テクノフォーラムは、「京都における産業創出と高専の役割(仮題)」と題して、平成24年8月20日(月)に国立京都国際会館において、開催の予定です。

開催趣旨

国立高等専門学校(以下「高専」)は、設置後50年にわたり、産業界や地域社会と連携した教育研究活動を通じて、実践的かつ専門的な知識や技術を有する創造的技術者を輩出して参りました。

本フォーラムの開催地である、ここ京都では堀場製作所、オムロン、ロームなど多数の企業が創業し、今日、これらの企業が我が国の産業界を活性化させています。このような京都の地域性に着目すると共に、高専卒業生の起業や高専のもつ知財創造力を通じて、高専の産業界における役割について考えたいと思います。

産官学の多くの方々から幅広くご参加いただき、イノベーション創出に向け、ご討議とご親睦を深めていただきますようお願いいたします。

主催 独立行政法人国立高等専門学校機構
担当 近畿地区国立高等専門学校
世話校 舞鶴工業高等専門学校

2. エンジニアリングデザイン教育

舞鶴高専では来年度からエンジニアリングデザイン演習の授業が始まります。エンジニアリングデザインとは製品開発の一連のプロセスを意味する言葉であり、学生はそのプロセスを疑似体験します。今年度はその導入として、堀場製作所のご協力を得て、「エンジニアリングデザイン教育の試行」を、10月20日(木)～12月6日(火)まで8回にわたり実施しています。堀場製作所を訪問し、「もの作り体験学習～技能オリンピック教材を作る～」という回もあり、実際の仕事場を見学することで講義の内容を理解しやすくする体験学習の要素も取り入れています。

3. 特許関連講習会

学生のうちに特許について学ぶことは、企業に就職してからの業務に有効であり、先進国企業との開発競争あるいは開発途上国との価格競争の中で、日本企業が生き残っていくために特許を活用する必要があります。企業も特許のわかる技術者・開発者を育てたいと考えています。

今年度は、釧路高専の電子工学科を卒業され、高専や大学の理工学部で特許について講義をされておられる、弁理士古谷栄男さんを講師に迎え、12月7日(水)、14日(水)に開講の予定です。

4. 情報科学センター講演会(公開講演会)

舞鶴高専において、平成23年6月2日(木)に第32回情報科学センター講演会が開催されました。建設システム工学科 坂本英輔助教が「コンクリート構造物の長寿命化について」、機械工学科小林洋平講師が「日本のとるべきエネルギー戦略と風力エネルギーの果たす役割」という演題で講演を行いました。

第33回情報科学センター講演会は、平成23年11月30日(水)に、電気情報工学科 芦澤恵太講師が「幸せな騙され方ー画像圧縮の観点からー」、自然科学部門 背戸柳実教授が「p進体上の微分方程式」という演題で講演が行われ、活発な質疑がなされました。

来年度の講演会は6月頃の予定です。学外からも自由に参加可能ですので、講演時期が近づきましたら、舞鶴高専ウェブサイト上でご案内させていただきます。

ご意見ご要望の募集について

技術通信をより充実したものにして行くため、外部からのご意見や技術記事等のご要望を広く求めています。舞鶴高専の教職員が一丸となって、企業の皆様に役立つ情報を順次お届けして参ります。舞鶴高専から「プロジェクト参加募集」、「勉強会の開催案内」、「研究紹介」もお伝えしたいと思います。ご意見・ご要望につきまして、遠慮なく地域テクノセンター事務局・自然科学部門 宮崎昭仁までご連絡下さい。